



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 ヒラノテクシード
 コード番号 6245 URL <https://www.hirano-tec.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 岡田薫
 (氏名) 原昌史
 TEL 0745-57-0681
 配当支払開始予定日 2019年12月3日

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	15,852	18.0	2,796	59.8	2,839	58.8	1,918	68.4
2019年3月期第2四半期	13,431	17.8	1,750	16.4	1,788	15.7	1,139	7.7

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 2,074百万円 (75.4%) 2019年3月期第2四半期 1,182百万円 (1.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	127.51	—
2019年3月期第2四半期	75.72	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	43,256	29,353	67.9
2019年3月期	43,734	27,675	63.3

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 29,353百万円 2019年3月期 27,675百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	18.00	—	27.00	45.00
2020年3月期	—	18.00	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	18.00	36.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	△8.1	3,950	△18.4	4,000	△18.3	2,700	△21.2	179.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	15,394,379 株	2019年3月期	15,394,379 株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	344,538 株	2019年3月期	350,783 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	15,045,361 株	2019年3月期2Q	15,043,596 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

なお、上記業績予想の前提条件その他の関連する事項については、添付資料の2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(追加情報)	10
3. その他	10
継続企業の前提に関する重要事象等	10
4. 補足情報	11
生産、受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用情勢並びに所得水準の改善が続き個人消費は底堅く推移しており、企業収益は比較的堅調に推移し景気は緩やかな回復基調で推移しましたが、一部では企業収益に足踏み傾向も見られました。米中貿易摩擦の影響などにより中国経済に陰りが見えはじめ、輸出関連企業の設備投資計画の見直しなど、景気は不透明感が残る状況で推移いたしました。

世界経済は、米中貿易摩擦の長期化等により自動車関連から減速感を強めており、中国においては製造業以外においてもその影響は顕在化しつつあります。また、欧州情勢における減速感や保護主義的な政策など、経済リスクに対する懸念は大きく、不透明感が払拭出来ない状況にあります。

このような状況のもと当社グループにおきましては、昨年引き続き「時流に乗って躍進」をスローガンに、顧客ニーズの変化や市場動向を的確に把握し、満足度の向上に努めるとともに、価値ある技術を創出し続けるべく、積極的に受注並びに生産活動に取り組んでまいりました。

売上高におきましては、第1四半期連結累計期間には売上にずれ込みがあったものの当第2四半期連結累計期間においては概ね予想通りに推移いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は15,852百万円(前年同期比18.0%増)となり、利益面では営業利益は2,796百万円(前年同期比59.8%増)、経常利益は2,839百万円(前年同期比58.8%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,918百万円(前年同期比68.4%増)となりました。

また、受注におきましては企業の設備投資計画にも慎重な姿勢がみられる市場環境のもとではありましたが、電気自動車関連市場を中心とした二次電池電極塗工装置は堅調に推移いたしました。

受注残高におきましても、一部客先の投資計画の凍結に伴い1,460百万円を減額したものの、電気自動車関連市場を中心に依然として高い受注残高となっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における受注高は11,886百万円(前年同期比27.5%減)、受注残高は32,223百万円(前期末比14.4%減)となりました。

なお、前期末受注残高に当四半期連結累計受注高・当四半期連結累計売上高を加減算した額が当四半期末残高に一致しておりません。これは、客先の投資計画の凍結に伴い受注残高より1,460百万円を減額したことによります。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

(塗工機関連機器)

当セグメントは、二次電池向け電極塗工装置を中心に推移いたしました。

その結果、売上高は8,602百万円(前年同期比53.2%増)、セグメント利益は1,453百万円(前年同期比141.7%増)となりました。

受注残高につきましては、17,338百万円(前期末比11.4%増)となりました。

(化工機関連機器)

当セグメントは、成膜装置を中心に低調に推移いたしました。

その結果、売上高は6,493百万円(前年同期比9.2%減)、セグメント利益は1,469百万円(前年同期比3.2%増)となりました。

受注残高につきましては、13,953百万円(前期末比33.5%減)となりました。

(その他)

当セグメントは、染色整理機械装置、各種機器の部品の製造及び修理・改造等を行っております。

売上高は757百万円(前年同期比13.7%増)、セグメント利益は348百万円(前年同期比27.3%増)となりました。

受注残高につきましては、930百万円(前期末比15.0%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べ2,466百万円減少し、32,401百万円となりました。その主な要因は、売上債権が412百万円、未収消費税が672百万円それぞれ増加したこと、及び現金及び預金が648百万円、有価証券の償還により3,768百万円それぞれ減少したことによります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ1,988百万円増加し、10,854百万円となりました。その主な要因は、京都府木津川市における新工場建設等により有形固定資産が1,619百万円、保有株式の時価変動等により投資その他の資産が360百万円それぞれ増加したことによります。

(負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べ2,299百万円減少し、12,795百万円となりました。その主な要因は、仕入債務が275百万円増加したこと、及び大型案件の売上により前受金が2,519百万円減少したことによります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ143百万円増加し、1,108百万円となりました。その主な要因は、長期借入金が158百万円増加したことによります。

(純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ1,677百万円増加し、29,353百万円となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益を1,918百万円計上したこと、前連結会計年度に係る配当金を406百万円支払ったことによります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によって使用されたキャッシュ・フローは2,384百万円(前年同期は6,119百万円の収入)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前四半期純利益が2,779百万円になったことによります。また、主な減少要因は売上債権が412百万円増加したこと、前受金が2,519百万円減少したこと、法人税の支払額が1,104百万円あったことによります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によって使用されたキャッシュ・フローは501百万円(前年同期は194百万円の支出)となりました。

主な増加要因は、有価証券の売却による収入が3,000百万円あったことによります。また、主な減少要因は有価証券の取得による支出が1,700百万円、有形固定資産の取得による支出が1,523百万円及び投資有価証券の取得による支出が251百万円あったことによります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によって使用されたキャッシュ・フローは228百万円(前年同期は205百万円の支出)となりました。

主な増加要因は、短期借入金が50百万円増加したこと、長期借入れによる収入が450百万円あったことによります。また、主な減少要因は長期借入金の返済による支出が321百万円あったこと、配当金の支払額が405百万円あったことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

また、当社が販売する塗工機関連機器及び化工機関連機器等は受注生産であり、顧客の指定納期や発注時期も様々であります。よって各四半期において売上高及び受注高が同水準とならない場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,910,891	12,262,442
受取手形及び売掛金	6,429,902	7,044,049
電子記録債権	620,922	419,103
有価証券	7,268,957	3,499,991
仕掛品	7,102,636	7,253,793
原材料及び貯蔵品	105,010	188,651
その他	433,372	1,748,042
貸倒引当金	△3,239	△14,248
流動資産合計	34,868,453	32,401,828
固定資産		
有形固定資産	4,653,243	6,272,813
無形固定資産	78,004	86,361
投資その他の資産		
投資有価証券	3,658,390	3,987,554
その他	476,785	508,265
投資その他の資産合計	4,135,175	4,495,820
固定資産合計	8,866,423	10,854,995
資産合計	43,734,877	43,256,823

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,910,998	2,954,983
電子記録債務	3,476,254	3,708,158
短期借入金	—	50,000
1年内返済予定の長期借入金	561,804	532,446
未払法人税等	1,090,278	871,591
前受金	5,357,988	2,838,921
賞与引当金	211,250	217,000
製品保証引当金	52,622	58,558
その他	1,433,278	1,563,489
流動負債合計	15,094,475	12,795,149
固定負債		
長期借入金	354,220	512,332
役員退職慰労引当金	83,330	36,700
退職給付に係る負債	505,284	477,867
資産除去債務	15,188	15,342
その他	6,747	65,991
固定負債合計	964,771	1,108,232
負債合計	16,059,246	13,903,382
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,847,821	1,847,821
資本剰余金	1,339,722	1,342,142
利益剰余金	24,618,569	26,130,894
自己株式	△408,218	△401,008
株主資本合計	27,397,895	28,919,850
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	448,135	567,931
退職給付に係る調整累計額	△170,400	△134,340
その他の包括利益累計額合計	277,735	433,591
純資産合計	27,675,630	29,353,441
負債純資産合計	43,734,877	43,256,823

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	13,431,188	15,852,937
売上原価	10,658,102	11,660,820
売上総利益	2,773,085	4,192,117
販売費及び一般管理費	1,022,834	1,395,176
営業利益	1,750,251	2,796,940
営業外収益		
受取利息	1,838	2,665
受取配当金	27,452	31,466
その他	22,631	15,844
営業外収益合計	51,922	49,976
営業外費用		
支払利息	4,850	3,694
売上割引	6,975	2,331
その他	1,922	1,589
営業外費用合計	13,748	7,615
経常利益	1,788,425	2,839,301
特別利益		
固定資産売却益	1,025	—
特別利益合計	1,025	—
特別損失		
投資有価証券評価損	—	60,011
特別損失合計	—	60,011
税金等調整前四半期純利益	1,789,451	2,779,289
法人税、住民税及び事業税	589,075	909,991
法人税等調整額	61,259	△49,203
法人税等合計	650,334	860,787
四半期純利益	1,139,116	1,918,501
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,139,116	1,918,501

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,139,116	1,918,501
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,363	119,796
退職給付に係る調整額	19,843	36,059
その他の包括利益合計	43,207	155,856
四半期包括利益	1,182,323	2,074,358
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,182,323	2,074,358
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,789,451	2,779,289
減価償却費	154,945	141,439
長期前払費用償却額	10,495	14,324
賞与引当金の増減額(△は減少)	6,334	5,750
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△2,223	11,009
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7,993	△46,630
製品保証引当金の増減額(△は減少)	9,517	5,936
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△3,735	△6,952
受取利息及び受取配当金	△29,291	△34,131
支払利息	4,850	3,694
固定資産売却損益(△は益)	△637	—
固定資産除却損	35	287
投資有価証券評価損益(△は益)	—	60,011
売上債権の増減額(△は増加)	4,777,995	△2,931,396
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,874,429	△245,844
仕入債務の増減額(△は減少)	1,331,309	△518,822
未払金の増減額(△は減少)	278,749	388,108
未払費用の増減額(△は減少)	△14,600	△28,624
未収消費税等の増減額(△は増加)	297,694	△672,271
未払消費税等の増減額(△は減少)	52,430	△294,949
その他	△189,551	57,507
小計	6,591,346	△1,312,265
利息及び配当金の受取額	29,291	34,127
利息の支払額	△4,850	△3,694
法人税等の支払額	△498,548	△1,104,884
法人税等の還付額	2,476	2,706
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,119,715	△2,384,010
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,000	△1,000
定期預金の払戻による収入	1,000	1,000
有価証券の取得による支出	△300,000	△1,700,000
有価証券の売却による収入	100,000	3,000,000
有形固定資産の取得による支出	△125,372	△1,523,449
有形固定資産の売却による収入	45,261	—
無形固定資産の取得による支出	△12,975	△23,089
投資有価証券の取得による支出	△2,269	△251,622
投資有価証券の売却による収入	893	744
その他	99,474	△4,458
投資活動によるキャッシュ・フロー	△194,988	△501,874

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	50,000	50,000
長期借入れによる収入	320,000	450,000
長期借入金の返済による支出	△317,966	△321,246
自己株式の取得による支出	—	△179
配当金の支払額	△255,875	△405,672
その他	△1,530	△1,534
財務活動によるキャッシュ・フロー	△205,372	△228,632
現金及び現金同等物に係る換算差額	△487	△2,902
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,718,866	△3,117,419
現金及び現金同等物の期首残高	8,341,211	15,140,853
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,060,078	12,023,434

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 補足情報

生産、受注及び販売の実績

① 生産実績

当第2四半期連結累計期間における生産実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	生産高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	6,623,947	+38.5
化工機関連機器	4,669,353	△15.4
その他	367,519	+4.2
合計	11,660,820	+9.4

- (注) 1. 金額は生産原価で、上記の内には外注生産によるものも含んでおります。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高(千円)	前年同期比(%)	受注残高(千円)	前期末比(%)
塗工機関連機器	10,374,695	+148.4	17,338,891	+11.4
化工機関連機器	918,942	△91.9	13,953,580	△33.5
その他	593,309	△34.6	930,775	△15.0
合計	11,886,947	△27.5	32,223,246	△14.4

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。
3. 化工機関連機器につきましては、前期末受注残高に当四半期受注高・当四半期売上高を加減算した額が当四半期末受注残高に一致しておりません。これは、客先の投資計画の凍結に伴い受注残高より1,460,000千円を減額したことによります。

③ 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	販売高(千円)	前年同期比(%)
塗工機関連機器	8,602,002	+53.2
化工機関連機器	6,493,566	△9.2
その他	757,368	+13.7
合計	15,852,937	+18.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっております。
2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。